環境に係る情報協議会
国営施設応急対策事業　お茶の水地区

1. 環境に対する考え方

（「岩見沢市田園環境整備マスタープラン」及び
「江別市田園環境整備マスタープラン」から）

《農村環境の現状と課題》

【　現　状　】

①岩見沢市は、中央部に市街地があり、東部には夕張山地と連なる山地から、西部の石狩川左岸に広がる低平地にいたるまで、多様な自然に恵まれ生息する動物や植物の種類も豊富である。また、西部の低地帯には多くの湖沼が見られ、魚介類をはじめ水生植物も豊かである。

②江別市は、石狩川と野幌原始林とともに豊かな自然の恵みをもたらし、市民の心のよりどころとしての役割を果たしている。一方、災害のほとんどが石狩川を始めとする河川の氾濫による。

【　課　題　】

①岩見沢市は、河川整備等により、かつてはいたるところで見られた「イトヨ」などが減少しており、今後は環境に配慮した水辺環境の整備が重要である。

②江別市は、自然環境は豊富であり、動植物の保護・保全に努め、水や緑などの景観を有効に市民生活に取り組むことが課題である。

《環境保全の基本的考え方》

〇山地から湖沼に至る恵まれた自然環境とそこに生息する多様な生物を総合的に保全するため、自然環境に配慮した整備を行う。
〇生産性の向上を図り、地域農業を担う農業者の確保、環境にやさしい農業を推進するとともに、美しい景観を保全するため、環境に配慮した整備を行う。
〇緑地などの緑や樹林地、水辺等の自然景観や良好な自然環境の保全に努める。
〇防風林・保安林の保全のために適正な管理を図ると共に河川などの自然に配慮した河川環境の保全に努める。
〇緑地空間のネットワーク化を図る。

2. 環境配慮のための環境調査

《基本方針》

【調査位置の考え方】

本地区の環境は、周囲の大部分が水田となっており、排水路毎の環境差異はみられないため、基幹排水路であるお茶の水幹線排水路で調査を実施する。

【調査項目の考え方】

既往調査結果を活用するとともに、農地エリアで調査の行われていない項目について現地調査を行っていく。

《環境調査内容》

〇調査項目　①鳥類　②魚類　③植物　④水質

〇調査方法

鳥　類	：	ラインセンサス法
魚　類	：	採捕調査
植　物	：	植物相調査
水　質	：	SS、濁度